



認定NPO法人 びわこ豊穡の郷

第19回 (2022年度) 通常総会



2022年6月12日(日) 午後2時～午後3時
びわこ豊穡の郷事務所

第 19 回(2022 年度)

認定 NPO 法人 びわこ豊穰の郷 通常総会 式次第

日時 2022 年 6 月 12 日(日)

午後 2 時から午後 3 時

場所 びわこ豊穰の郷事務所

1. 開会宣言
2. 理事長あいさつ
3. 議長選出
4. 資格審査委員、役員選考委員、議事運営委員、書記、議事録署名人任命
5. 議事審議
 - 第 1 号議案 2021 年度事業報告並びに決算報告
 - 第 2 号議案 2022 年度事業計画(案)並びに活動予算(案)
 - 第 3 号議案 2022 年度理事、監査選任(案)承認の件
6. 議長降壇
7. 閉会あいさつ

1号議案 2021年度事業報告

2021年度を振り返って

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活環境や価値観が変化しているなか、当法人の事業は規模の縮小と感染症対策を取りながら活動を進めることができました。しかし「守山ほたるパーク&ウォーク」は2年連続の中止となりました。また、コロナ禍において、行政からの委託事業にも影響を及ぼし、助成金の獲得を目指し努力しながら活動を進めてまいりました。このような状況の中でボランティアの有償化を模索した年となりました。そして、図書館横の目田川では水辺を創る川づくりに挑戦し、作業終了後には親子連れが遊ぶ姿が見られ、取り組めて良かったと思っています。様々な新たな問題を抱えながらも、これからの豊穡の郷の活動がステップアップできる芽が見えてきたように思います。

事業実施の方針

(1) 水環境保全活動の取り組み	
<p>① 諸活動の継続と新たな展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「水辺の楽校」「赤野井湾探検会」の自主事業化 守山市の水環境保全委託事業費の10%削減を受けて、水辺の楽と赤野井湾探検会を助成金で行う自主事業とした。活動の自由度は増したが、安定した事業費の確保の観点から、市の委託事業に戻すよう申し入れは続けて行う。 ● 学生の活躍 高齢化が進み、会員の参加が減少する中、学生の活躍が目立った年になった。今後も毎年訪れるインターンシップ学生と現在活動中の学生との引き継ぎが潤滑にできる体制づくりが重要となる。 ● あつまれみんなの川づくり (参加人延べ数約120人) 未来ファンドおうみの助成で1年間、毎月第4日曜日に、市立図書館横目田川で清掃整備活動を行なった。期間中、バープ工を作り川床整備に取り組んだ結果、カワニナが増えるなど、河床の様子も改善されたため、水辺の楽校でこの場所にゲンジボタルの幼虫放流を行った。 当初、この活動で市民からの参加者獲得を目標としたが、この場所を楽しむ家族連れなどの市民の姿は増えたが、作業への参加者は思ったように増えなかった。しかし、中心となって活動する学生の発案で、フリースクール児童の作業協力やMLGs推進事業コラボワークショップなどの新たな動きも生まれた。 
<p>② 地域との協働の推進</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、自粛が相次ぎ今年も地域との連携は思うように進められなかったが、今年度作成した水環境マップⅣでは、市内全域の水環境を詳細に調査し掲載したので、これを機会に地域との連携活動ができるのではと期待している。</p>

(2) 持続可能なNPOを目指す基盤強化の取り組み

① 財政の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 助成金で活動費を調達 複数の助成金申請が採択され、活動経費の他、学生やシニアボランティアにも謝礼を支払うことができた。しかし人件費を含む事務局経費が対象外のものがほとんどで、事業から利益を生み出すことができなかつた。2022年度予算はこれを考慮した予算立てを行う。 <p>2021年度助成事業一覧</p> <table border="1" data-bbox="414 481 1460 1064"> <thead> <tr> <th>助成元</th> <th>事業名</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然保護助成基金</td> <td>もりやま芦刈園でのビオトープ再生事業</td> <td>370,000</td> </tr> <tr> <td>損保ジャパン環境財団</td> <td>目田川でゲンジボタルの自生を目指す 小さな自然再生</td> <td>194,000</td> </tr> <tr> <td>琵琶湖の日基金</td> <td>あつまれみんなの川づくり</td> <td>195,000</td> </tr> <tr> <td>河川財団</td> <td>水辺の楽校(春・秋)、夏休み自由研究 教室、水環境マップIV作成 目田川生き もの図鑑増刷など</td> <td>600,000</td> </tr> <tr> <td>高原環境財団</td> <td>赤野井湾探検会</td> <td>256,000</td> </tr> <tr> <td>損保ジャパン環境財団</td> <td>CSO ラーニング制度 インターンシップ学生派遣</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>おたがいさんネットワーク</td> <td>水環境マップIV作成</td> <td>50,000</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 個人および企業への営業活動 新型コロナウイルス感染症拡大のため思うような活動はできなかつたが、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 リテール・フード滋賀支店より、240本の飲料の寄付を頂いた。 ● その他の活動 研修受け入れや講師派遣にも力を入れたが、収入増にはつながらなかつたことから、今後は準備のための人件費も考慮した研修受入料や講師派遣料の設定が課題となつた。 	助成元	事業名	助成金額	自然保護助成基金	もりやま芦刈園でのビオトープ再生事業	370,000	損保ジャパン環境財団	目田川でゲンジボタルの自生を目指す 小さな自然再生	194,000	琵琶湖の日基金	あつまれみんなの川づくり	195,000	河川財団	水辺の楽校(春・秋)、夏休み自由研究 教室、水環境マップIV作成 目田川生き もの図鑑増刷など	600,000	高原環境財団	赤野井湾探検会	256,000	損保ジャパン環境財団	CSO ラーニング制度 インターンシップ学生派遣	50,000	おたがいさんネットワーク	水環境マップIV作成	50,000
助成元	事業名	助成金額																							
自然保護助成基金	もりやま芦刈園でのビオトープ再生事業	370,000																							
損保ジャパン環境財団	目田川でゲンジボタルの自生を目指す 小さな自然再生	194,000																							
琵琶湖の日基金	あつまれみんなの川づくり	195,000																							
河川財団	水辺の楽校(春・秋)、夏休み自由研究 教室、水環境マップIV作成 目田川生き もの図鑑増刷など	600,000																							
高原環境財団	赤野井湾探検会	256,000																							
損保ジャパン環境財団	CSO ラーニング制度 インターンシップ学生派遣	50,000																							
おたがいさんネットワーク	水環境マップIV作成	50,000																							
② 人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ● SNS やチラシを使った人材確保正の試み SNS を使った呼びかけに対しての反応は出始めているが、正会員やスタッフ増加にまでは及ばなかつた。しかし、今年度始めた「公式 LINE」には4月の時点で33名の登録があり、ここで当日スタッフの募集や作業の参加者募集を行うので、これからの効果が期待できる。 																								
(3) 会議の開催																									
事業名	概要																								
第18回(2021年度)通常総会	<p>日 時 2021年6月13日(日)午後2時から午後3時</p> <p>場 所 びわこ豊穰の郷事務所および ZOOM によるオンライン</p> <p>議事審議</p> <p>第1号議案 2020年度事業報告並びに決算報告承認</p> <p>第2号議案 2021年度事業計画(案)並びに活動予算(案)承認</p>																								

	新型コロナウイルス感染予防に配慮し、三役と希望者のみが事務所に参集したほか、オンライン参加(ZOOM)または書面決議で執り行った。
運営委員会	3か月に1回 年4回を目途に開会 事業報告ならびに会計報告と、事務局会議から提案あった議事内容について協議を行った。 2021年度は4月、7月、10月、12月、3月の計5回行った
事務局会議	毎月第1金曜(8月、1月は行わなかった) 経営・運営に関する事項を協議。必要に応じて運営委員会で協議、承認を受ける
環境保全学習事業部 会 環境情報発信事業部 会	毎月各事業の企画、計画、準備、反省などを行った
基盤強化勉強会	資金調達、人材確保など持続可能な運営のための勉強会 2021年度は理事対象の勉強会や事務所職員対象の勉強会も行った 講師 Office musubime 河合将生氏
(4) 全体活動	
事業名	概要
2021(第18回) もりやまほたるパーク &ウォーク	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
ほたるサポーター事業	ほたるサポーター(寄付者、賛助会員)からの支援で行う事業 ● ホタル研究室運営(人件費など) ● もびかプロジェクト ほたるの森資料館のほたる河川(Aゾーン/湖南幹線沿い河川)でホタル自生のための実験的な活動を展開した。

2. 事業の実施に関する事項

2021年4月1日 ～ 2022年3月31日

(1) 特定非営利活動に係る事業

① ホタルの調査、飼育及び研究事業
(1)守山市ほたるの森資料館指定管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ● 年3回「ほたるの森から」情報誌を発行 ● 開設30周年記念事業として、「ホタルと環境学習」シリーズのDVDを制作 ● 開設30周年記念誌の発行 ● 新型コロナウイルス対策をとった来館者対応の実施
(2)各種講座および研究 <ul style="list-style-type: none"> ● ほたる講座 7月スタート、全8回実施。(参加者5名) ● 環境学習会の実施(12/18・3/26) 地域で活動する団体の発表とホタル飛翔調査員との情報共有と意見交換会。 ● 出前講座 明富中学校 守山養護学校 レイカディア大学草津校) ● ホタル及びカワニナ飼育の調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ① 通常より約2か月早い羽化に成功し、新聞やNHKニュースで放映された。

② 幼虫提供を実施した。(自治会・教育機関・その他各種団体)

- 資料館展示室のリニューアルを実施した。
- 守山ホテル研究室の維持管理と幼虫飼育を行った。

② 環境保全活動の情報交換、発信事業

(1) 情報発信

- 魅力的で発信力のあるホームページづくり

Facebook や Instagram などの豊穰の郷の発信は好評だった。LINE 公式アカウントを開設、行事予定やボランティア募集の案内にも利用始めた。

- 豊穰の郷だより 94号～96号の発行。
- 学区民のつどい等情報提供

11月7日(日)エコフェスタ(エコパーク)、11月17日(日)～21日(日)市民活動フェスタ(さんさん守山)いずれもパネル「ホテルの一生」 ホテル蛹化装置 幼虫とカワニナ の展示

(2) 地域情報ネットワークづくり

- 川づくりフォーラムの開催

ホテルに関連した取り組みをテーマに開催。本年度は、企画、運営を学生が行なった。コロナ感染症拡大のため急遽オンライン開催となったが、パブリックミーティング形式の本フォーラムはアンケート結果からも大変好評だった。

- 研修受入 近畿ろうきん、レイカディア大学、関西大学、守山中学校、霞ヶ浦市民団体
- 出前講習 河西小学校 霞ヶ浦シンポジウム 近畿ろうきん草津支店

(3) 情報提供・共有

- 守山の水辺百選

2021年度も引き続き新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら7月10日(土)に旧野洲川南流と北流を訪ね、野洲川改修などについて学びんだ。その他、あやめ荘で湖魚料理の昼食

- 第18回世界湖沼会議

2020年11月にメキシコで開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を鑑み、1年の延期。現在も、感染収束状況が不透明なことから、2021年11月9日～11日までオンラインで開催。河野芳明さんが発表のためオンライン参加。他にも学生が作成した図書館横目田川の河川整備活動「あつまれみんなの川づくり」の紹介動画を英語版でリメイク。エキシビションとして全世界に紹介された。

- 水辺の交流会 新型コロナウイルス感染症が収束したのちに行う。

③ 琵琶湖赤野井湾流域の水質、シジミなどの生態系の調査、環境保全実践学習事業

(1) 環境保全活動

- 目田川モデル河川づくり

定例の草刈り、ごみ拾いのほかホテル自生に向けた小さな自然再生を行った。草刈り機(刈払い機)が使える参加者が少なくなり、この作業が大きな負担になっている。

例年がない大規模の瀬切れが起こったため、ホテルをはじめとした生物への悪影響が懸念される。

- 赤野井湾小津袋クリーン大作戦

小津学区、漁協、滋賀銀行などが参加(参加人数40人)新型コロナウイルス感染症の影響で企業からの参加人数が減少したほか、自治会の総会と重なり参加でない地域もあった。タイヤ2本 業務用冷蔵庫1台を回収。タイヤは当法人で処分、冷蔵庫については市が処分。回収ごみ総量180kg(タイヤ、冷蔵庫以外)



- 地域河川クリーン大作戦
2021年度の作業は図書館横目田川作業「あつまれみんなの川づくり」を行った。
- あつまれ！みんなの川づくり
本議案書 P1「諸活動の継続と新たな展開」に記載

(2) 環境学習活動

- 赤野井湾探検会 ※小学3年生以上は児童だけの参加可
2021年度は高原環境財団の助成事業として開催。
新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、通常よりも募集人数を抑えた。

開催日：7月24日(日) (一般参加人数 21人)

- 水辺の楽校(年3回) ※小学3年生以上は児童だけの参加可
夏編…新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。
秋編…芦刈園のビオトープで開催、園内にある河川で漁船に
乗り船頭体験や川底ごみの回収活動などを行った。

(参加人数:8人)

春編…図書館横目田川で開催。ゲンジボタルの幼虫放流、キットパスアート(参加人数 32人)

- 夏休み生きもの観察教室(対象:小学3年以上の児童)
3日連続講座(うち1日は市の委託事業。2日、3日目は河川環境財団助成。)水生生物の採集のポイント、スケッチの手法を学ぶほか、2021年度は樹脂標本づくりに挑戦した。(参加人数 6人)

- 小さな自然再生

2020年7月より目田川のゲンジボタル自生を目標に始まった活動。2021年度は大学生を中心に、小学生やその保護者などで構成。ホタルの棲みやすい河川整備や実験、観察なども行なった。(協力:碧いびわ湖)



(3) 研究・調査活動

- 河川水質調査
定例調査の他、2013年～2021年までの水質調査結果をまとめたマップⅣを作成した。(1000部印刷)
- 水辺の探検会-水生生物調査(小学3年生以上の児童・生徒・市民対象)
調査地点は、定例の吉川川(あまが池)、目田川、吉身川で行った。(参加人数 7人)
- 目田川生きもの図鑑作成 在庫がなくなった魚の再版
- ホタル環境調査
2020年度に引き続き、市民の協力による約1か月の飛翔調査。水辺の楽校参加者の中から3家族の飛翔調査協力の申し出があった。
- もびかプロジェクト
資料館ほたる河川Aゾーンで自生を目的とした実験的河川整備を実証中
- 内湖ビオトープの再生事業
芦刈園内湖・赤野井湾河口の再生をすすめ、この場が生物多様の場となるための活動を行った。9月11日には芦刈園ビオトープでの生物調査、9月18日にはワークショップを行った。

④ その他前各号の目的を達成するための事業

環境保全推進事業 今年度の活動はなかった

(2) その他の事業

(1) 賃貸事業

会議室の賃貸 3部屋のうち2部屋を賃貸中

(2) 田んぼづくり・菜の花栽培

農地の1/3で、環境学習として田植え体験、稲刈り体験を行った。(主催クラブアトラクション・協力びわこ豊穰の郷)

この事業で、始めて大きな黒字となった。2022年度も引き続きこの形で活動は継続する。

コロナ感染症予防のため「勝部の火まつり」が中止となり、菜の花栽培は行わなかった。

2021年度 活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人びわこ豊穰の郷
(単位：円)

科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合 計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	351,000		351,000
賛助会員受取会費	240,000		240,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	304,770		304,770
3 受取助成金等			
受取民間助成金	1,509,154		1,509,154
受取補助金	0		0
4 事業収益			
①ホテル調査、飼育及び研究事業収益	25,001		25,001
②環境情報発信事業収益	106,615		106,615
③環境保全学習事業収益	312,914		312,914
5 受託収益			0
守山市ほたるの森資料館指定管理	9,961,448		9,961,448
守山市環境保全活動	2,416,000		2,416,000
6 その他収益			
雑収益	385,911		385,911
7 賃貸事業収益		510,935	510,935
経常収益計 (A)	15,612,813	510,935	16,123,748
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	8,320,587	71,992	8,392,579
通勤手当	250,215	1,214	251,429
法定福利費	450,923	435	451,358
福利厚生費	0	0	0
人件費計	9,021,725	73,641	9,095,366
(2)その他経費			
会議費	18,813	0	18,813
交際費	6,500	200	6,700
旅費交通費	144,722	40	144,762
通信運搬費	395,358	6,297	401,655
広告宣伝費	29,164	240	29,404
消耗品費	968,509	1,936	970,445
事務用品費	9,250	20	9,270
修繕費	173,450	0	173,450
新聞図書費	43,300	680	43,980
研修費	1,346	0	1,346
印刷製本費	303,020	2,211	305,231
燃料費	5,593	0	5,593
水道光熱費	1,338,799	8,044	1,346,843
支払地代家賃	224,261	6,649	230,910
リース料	189,092	5,818	194,910
保険料	175,830	1,286	177,116
諸会費	24,848	222	25,070
諸謝金	960,262	800	961,062
支払手数料	9,950	225	10,175
委託費	1,368,259	0	1,368,259
租税公課	2,256	45	2,301
雑費	154,261	897	155,158
その他経費計	6,546,843	35,610	6,582,453
事業費計	15,568,568	109,251	15,677,819

(単位：円)

科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合 計
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	1,187,861		1,187,861
通勤手当	14,512		14,512
法定福利費	7,183		7,183
福利厚生費	0		0
人件費計	1,209,556		1,209,556
(2)その他経費			
会議費	0		0
交際費	2,391		2,391
旅費交通費	480		480
通信運搬費	75,278		75,278
広告宣伝費	2,870		2,870
消耗品費	23,144		23,144
事務用品費	241		241
修繕費	0		0
新聞図書費	8,130		8,130
印刷製本費	26,432		26,432
燃料代	0		0
水道光熱費	96,163		96,163
支払地代家賃	79,482		79,482
リース料	69,554		69,554
保険料	21,212		21,212
諸会費	2,657		2,657
諸謝金	9,564		9,564
支払手数料	2,692		2,692
委託費	0		0
租税公課	740		740
雑費	10,725		10,725
その他経費計	431,755		431,755
管理費計	1,641,311		1,641,311
経常費用計 (B)	17,209,879	109,251	17,319,130
当期経常増減額 (A - B)	△ 1,597,066	401,684	△ 1,195,382
経理区分振替額 (C)	401,684	△ 401,684	0
①税引前当期正味財産増減額 (A - B + C)	△ 1,195,382	0	△ 1,195,382
②法人税等			72,200
当期正味財産増減額			△ 1,267,582
③前期繰越正味財産額			3,928,117
次期繰越正味財産額 (①-②+③)			2,660,535

特定非営利活動法人 びわこ豊穰の郷

2021年度 貸借対照表
(2022年3月31日現在)

(単位：円)

(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金	54,677	前受金	220,000
普通預金	1,238,208	預り金	46,516
定期預金	2,002,276		
未収金	1,326,245	未払費用	1,437,352
前払金	16,601	未払法人税等	72,200
仮払金	37,422	未払消費税	238,826
流動資産合計	4,675,429	流動負債合計	2,014,894
固定資産	0	固定負債	0
固定資産合計	0	固定負債合計	0
		負債合計	2,014,894
		正味財産の部	
		正味財産期首残高	3,928,117
		当期正味財産増減額	-1,267,582
		正味財産合計	2,660,535
資産合計	4,675,429	負債及び正味財産合計	4,675,429

2021年度 財産目録
(2022年3月31日現在)

(単位：円)

(資産の部)		
流動資産		
現金	54,677	54,677
普通預金	1,238,208	1,238,208
--滋賀銀行	632,071	
--ろうきん	66,500	
--郵便振替口座	539,637	
定期預金	2,002,276	2,002,276
--滋賀銀行	2,002,276	
未収金	1,326,245	1,326,245
前払金	16,601	16,601
仮払金	37,422	37,422
流動資産合計		4,675,429
固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		4,675,429
(負債の部)		
流動負債		
前受金	220,000	220,000
預り金	46,516	46,516
--源泉所得税	12,850	
--その他	33,666	
未払費用	1,437,352	1,437,352
未払法人税等	72,200	72,200
未払消費税	238,826	238,826
流動負債合計		2,014,894
固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		2,014,894
正味財産合計		2,660,535

*当期の消費税額は、612,800円です。

監 査 報 告 書

2021年度特定非営利活動法人びわこ豊穰の郷について、帳簿等関係書類を監査しましたところ、適正に処理されたと認められましたので、報告します。

2022年5月17日

特定非営利活動法人びわこ豊穰の郷

監事 芝本伊三男 

監事 佐藤 育子 

2号議案 2022年度事業計画(案)並びに活動予算(案)

はじめに

1996年設立以来「ゲンジボタルが乱舞する故郷の再現」「琵琶湖とシジミに親しむ湖辺の再現」を揚げ、水環境の様々な活動に取り組んでまいりました。26年目を迎え、今まで継続した活動ができました事は、皆様のご理解とご協力のお陰と感謝申し上げます。

2022年、新型コロナウイルスの感染拡大は収束の兆しが未だに見えない中ですが、中期目標である「地域との連携」「仲間づくり」「次世代育成」「ネットワーク化」を感染予防対策を取り、充実した活動を進めていきます。さらに持続可能なNPOを目指し基盤強化にも力を入れ、過去2年間の勉強会から今年は行動に向けて活動したいと思います。

コロナ禍を契機にSNSを活用した情報発信が普及し、豊穰の郷でもさらに進め、社会の多様化に対応していくように進めたいと思います。

事業実施の方針

(1) 水環境保全活動の取り組み	
① 諸活動の継続と新たな展開	今後の水路維持や水質調査などの諸活動のために、市内の駅周辺部の暗渠水路がどこに繋がっているのかを知るための勉強会や聞き取りを実施したいと考えている。
② 地域との協働の推進	地域の水路清掃と調査による自治会との連携強化(水路や水辺についてお話をうかがう機会をつくりたいと考えている)
(2) 持続可能なNPOを目指す基盤強化の取り組み	
基盤強化プロジェクト	基盤強化推進のために①人材育成と確保 ②持続可能な運営のための多様な主体からの資金調達
(3) 会議の開催	
事業名	概要
第19回(2022年度)通常総会	日 時 2022年6月12日(日)午後2時から午後3時30分 場 所 びわこ豊穰の郷事務所および ZOOM によるオンライン 議事審議 第1号議案 2020年度事業報告並びに決算報告承認 第2号議案 2021年度事業計画(案)並びに活動予算(案)承認 第3号議案 2022年度2023年度 理事並びに監事選任(案)承認
運営委員会	年4回を目途に開会。事業報告ならびに会計報告と、事務局会議から提案あった議事内容について協議を行う。
事務局会議	毎月第1金曜 経営・運営に関する事項を協議。
環境保全学習事業部会 環境情報発信事業部会	毎月各事業の企画、計画、準備、反省など
(4) 全体活動	
事業名	概要
2022(第19回)もりやまほたるパーク&ウォーク	5月22日(日)～5月29日(日)の期間に開催。 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、散策路の縮小、ほたるエコバスに代えてホテルシャトルタクシーでの試験運行を行った。

ほたるサポーター事業	ほたるサポーター(寄付者、賛助会員)からの支援で行う事業 <ul style="list-style-type: none"> ● ホタル研究室運営(人件費など) ● もびかプロジェクト 資料館ほたる河川(Aゾーン)のホタル自生を目指す活動
------------	--

2. 事業の実施に関する事項

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日

(1) 特定非営利活動に係る事業

① ホタルの調査、飼育及び研究事業
(1) 守山市ほたるの森資料館指定管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ● 年3回情報誌「ほたるの森から」を発行 ● ほたる河川の調査と維持管理 ● 館内外施設の維持管理と幼虫とカワニナ飼育の研究 ● 新型コロナウイルス感染症防止対策をとった来館者対応の実施
(2) 各種講座および研究 <ul style="list-style-type: none"> ● ほたる講座 全8回の実施(参加者10名まで) ● 環境学習会の実施(2回以上) ● 出前講座(各小中学校、養護学校、レイカディア大学 その他) ● ホタル、カワニナ飼育に関する調査研究 <p>ホタルの幼虫の提供(希望自治会・教育機関・その他各種団体) 成虫の羽化についての研究を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規展示物の作成 展示 ● 守山ホタル研究室の維持管理と幼虫の飼育
② 環境保全活動の情報交換、発信事業
(1) 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ● 魅力的で発信力のあるホームページづくり Facebook や Instagram、Twitter と LINE 公式アカウントを利用した発信 フォロワーを増やすための勉強会の実施予定 ● 豊穰の郷だより 97号～99号の発行 活動報告やコラムなどを盛り込み、バラエティーに富んだ紙面づくりを目標に ● 学区民のつどい等情報提供 水環境保全の大切さや地域の問題点などを指摘し、啓発広報を通じて意識向上に繋げる試み
(2) 地域情報ネットワークづくり <p>地域で取り組んでいる川づくりの技術や経験、活動を共有化し広報する。</p> <p>活動内容 市内の各地域で取り組まれている川づくりを支援し、その情報を収集するとともに共有を進めるため、活動内容や成果をホームページで公開する。更に地域間の交流を深めるために、水環境に関わる団体や学識者の講演会と併せ地域の成果発表会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 川づくりフォーラムの開催 水環境保全、改善活動の発表の場の提供と情報共有を目的として開催 ● 川づくりネット 自治会向けホームページ講習会を無料で開催。各自治会に案内文を送付した。
(3) 情報提供・共有 <ul style="list-style-type: none"> ● 守山の水辺百選 水辺に対する愛着、興味などの喚起を目的として、地域の水辺の紹介と解説を行う。 2022年度は7月10日(日) 瀬田方面への探訪を計画

- 研修受入 出前講習会の実施
- 水辺の交流会。新型コロナウイルス感染症が収束後に実施の予定

③ 琵琶湖赤野井湾流域の水質、シジミなどの生態系の調査、環境保全実践学習事業

(1) 環境保全活動

- 目田川モデル河川づくり
毎月第3土曜日9:00~11:30(雨天時は翌日曜日に延期)
理想的な川づくりのモデルとして、ホタルの自生と多様な生物が生息できる環境整備活動の実施
参加者募集中!どなたでもご参加ください。
- 赤野井湾小津袋クリーン大作戦
地域自治会、企業・学生・漁協との協力で、琵琶湖、赤野井湾の清掃活動や特定外来植物を除去
- 地域河川クリーン大作戦
身近な河川で気軽に参加できる活動として地域河川清掃を実施(会員対象)

(2) 環境学習活動

- 赤野井湾探検会
河川と赤野井湾(琵琶湖)の活動を通して自然のすばらしさを実感し、そこにある営みを理解し知ること、外来種や流入するごみの及ぼす影響を考える体験学習会。
対象:小学生以上の児童と保護者 ※小学3年生以上は児童だけの参加も可。
2022年度は7月23日(土)を予定
- 水辺の楽校
子どもたちに自然体験の場を提供し、水辺の楽しい活動体験を通して、自然環境や水環境を保全する意識が育まれることを目的とする。
夏編、春編の2回を予定。
対象:市内外親子(小学3年生以上は児童のみの参加も可)
- 夏休み生きもの観察教室
子どもたちに水辺環境や生きもの専門家から学ぶ機会を提供する。
3日連続講座(うち1日は市の委託事業。2日は助成事業)
対象:市内外小学校3年生以上の児童

(3) 研究・調査活動

- 河川水質調査
河川の実情把握と現状共有のための資料作成。
- 水辺の探検会-水生生物調査(小学3年生以上の児童・生徒・市民対象)
環境学習の場を提供すると同時に、河川にすむ生物を調査することで河川の現状を把握する。
- 目田川生きもの図鑑作成 樹木編(春夏編)の作成
目田川図鑑シリーズ続編の発行

● ホタル環境調査

期 間:5月9日(月)~6月8日(水)

調査地点:パーク&ウォーク散策路及び、守山市ほたる条例第5条の規定に基づき定めた保護区域のホタル飛翔調査

● もぴかプロジェクト

資料館ほたる河川 Aゾーン(市民運動公園内湖南幹線沿い河川)でホタル自生を目的とした実験的河川整備の実施

● 小さな自然再生

目田川のゲンジボタル自生のための活動。

大学生、小学生とその保護者などで構成されたチームで河川整備、実験や観察会を実施

● 内湖ビオトープの再生事業

芦刈園内湖(赤野井湾河口)の再生活動。生物多様のあるビオトープを再生する活動の継続

④ その他前各号の目的を達成するための事業

1. 環境保全推進事業

年度途中でも新規事業の開発や新しい活動の試みを企画し運営できる事業枠。

但し、運営委員会の承認が必要。また予算は上限を設定し、これ以上の支出がある場合は、事務局の協力も得ながら企画発案者が資金調達を行う。

(2) その他の事業

(1) 賃貸事業

会議室の賃貸(入居者募集中)

(2) 田んぼづくり・菜の花栽培

米作りと米づくりを通した子どもの環境学習場の提供

2022年度 活動予算（案）

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人びわこ豊穰の郷
(単位：円)

科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合 計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	350,000		350,000
賛助会員受取会費	250,000		250,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	500,000		500,000
3 受取助成金等			
受取民間助成金	684,000		684,000
受取補助金	0		0
4 事業収益			
①ホテル調査、飼育及び研究事業収益	45,000		45,000
②環境情報発信事業収益	362,000		362,000
③環境保全学習事業収益	200,000		200,000
5 受託収益			
守山市ほたるの森資料館指定管理	11,666,600		11,666,600
守山市環境保全活動	2,416,000		2,416,000
6 その他収益			
雑収益	409,000		409,000
賃貸事業収益		500,000	500,000
経常収益計（A）	16,882,600	500,000	17,382,600
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	8,226,100	52,400	8,278,500
通勤手当	248,000	1,200	249,200
法定福利費	491,800	500	492,300
福利厚生費	0	0	0
人件費計	8,965,900	54,100	9,020,000
(2)その他経費			
会議費	18,600	0	18,600
交際費	6,500	200	6,700
旅費交通費	143,500	100	143,600
通信運搬費	352,200	6,300	358,500
広告宣伝費	29,000	200	29,200
消耗品費	761,400	900	762,300
事務用品費	9,200	100	9,300
修繕費	72,000	0	72,000
新聞図書費	42,900	700	43,600
印刷製本費	220,100	2,200	222,300
燃料費	5,600	0	5,600
水道光熱費	1,227,800	6,000	1,233,800
支払地代家賃	222,400	6,600	229,000
リース料	187,600	5,800	193,400
保険料	191,800	1,400	193,200
諸会費	24,600	200	24,800
諸謝金	484,400	800	485,200
支払手数料	9,800	200	10,000
委託費	2,743,300	18,200	2,761,500
租税公課	2,500	100	2,600
雑費	153,100	900	154,000
その他経費計	6,908,300	50,900	6,959,200
事業費計	15,874,200	105,000	15,979,200

(単位：円)

科 目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合 計
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	863,900		863,900
通勤手当	14,400		14,400
法定福利費	7,800		7,800
福利厚生費	0		0
人件費計	886,100		886,100
(2)その他経費			
会議費	0		0
交際費	2,400		2,400
旅費交通費	500		500
通信運搬費	74,700		74,700
広告宣伝費	2,900		2,900
消耗品費	23,000		23,000
事務用品費	200		200
修繕費	0		0
新聞図書費	8,100		8,100
印刷製本費	6,200		6,200
燃料費	0		0
水道光熱費	82,400		82,400
支払地代家賃	78,800		78,800
リース料	69,000		69,000
保険料	63,100		63,100
諸会費	2,600		2,600
諸謝金	9,500		9,500
支払手数料	2,700		2,700
委託費	7,600		7,600
租税公課	800		800
雑費	10,600		10,600
その他経費計	445,100	0	445,100
管理費計	1,331,200	0	1,331,200
経常費用計 (B)	17,205,400	105,000	17,310,400
当期経常増減額 (A - B)	△ 322,800	395,000	72,200
経理区分振替額 (C)	395,000	△ 395,000	0
①税引前当期正味財産増減額 (A - B + C)	72,200	0	72,200
②法人税等			72,200
当期正味財産増減額			0
③前期繰越正味財産額			2,660,535
次期繰越正味財産額 (①-②+③)			2,660,535

2022年度 活動予算書(案)の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜経理方式によっています。

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業					その他の事業	管理部門	合 計
	①ホテル調査、 飼育及び研究事 業	②環境情報発信事 業	③環境保全学 習事業	④守山ほたる サポーター 事業	事業部門計	⑤貸貸事業		
I 経常収益								
1 受取会費				250,000	250,000		350,000	600,000
2 受取寄附金				250,000	250,000		250,000	500,000
3 受取助成金等			684,000		684,000			684,000
4 事業収益	45,000	362,000	200,000		607,000			607,000
5 受託収益	11,192,000	1,025,800	1,025,800		13,243,600		839,000	14,082,600
6 その他収益						500,000	409,000	909,000
経常収益計	11,237,000	1,387,800	1,909,800	500,000	15,034,600	500,000	1,848,000	17,382,600
II 経常費用								
(1)人件費								
給料手当	6,334,000	523,500	785,300	583,300	8,226,100	52,400	863,900	9,142,400
通勤手当	218,000	12,000	18,000	0	248,000	1,200	14,400	263,600
法定福利費	480,000	4,700	7,100	0	491,800	500	7,800	500,100
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	7,032,000	540,200	810,400	583,300	8,965,900	54,100	886,100	9,906,100
(2)その他経費								
会議費	0	11,600	7,000	0	18,600	0	0	18,600
交際費	1,500	2,000	3,000	0	6,500	200	2,400	9,100
旅費交通費	10,500	9,200	123,800	0	143,500	100	500	144,100
通信運搬費	161,600	89,700	100,900	0	352,200	6,300	74,700	433,200
広告宣伝費	1,800	2,400	24,800	0	29,000	200	2,900	32,100
消耗品費	316,800	20,700	420,000	3,900	761,400	900	23,000	785,300
事務用品費	8,000	200	1,000	0	9,200	100	200	9,500
修繕費	72,000	0	0	0	72,000	0	0	72,000
新聞図書費	26,100	6,700	10,100	0	42,900	700	8,100	51,700
印刷製本費	45,100	47,800	127,200	0	220,100	2,200	6,200	228,500
燃料代	0	0	5,600	0	5,600	0	0	5,600
水道光熱費	1,088,300	59,800	79,700	0	1,227,800	6,000	82,400	1,316,200
支払地代家賃	49,500	65,900	107,000	0	222,400	6,600	78,800	307,800
リース料	43,300	57,700	86,600	0	187,600	5,800	69,000	262,400
保険料	123,500	14,000	54,300	0	191,800	1,400	63,100	256,300
諸会費	15,500	5,800	3,300	0	24,600	200	2,600	27,400
諸謝金	146,000	88,600	249,800	0	484,400	800	9,500	494,700
支払手数料	1,800	2,400	5,600	0	9,800	200	2,700	12,700
委託費	2,536,300	54,400	152,600	0	2,743,300	18,200	7,600	2,769,100
租税公課	600	500	1,400	0	2,500	100	800	3,400
雑費	41,400	43,000	68,700	0	153,100	900	10,600	164,600
その他経費計	4,689,600	582,400	1,632,400	3,900	6,908,300	50,900	445,100	7,404,300
経常費用計	11,721,600	1,122,600	2,442,800	587,200	15,874,200	105,000	1,331,200	17,310,400
法人税等								72,200
当期経常増減額	-484,600	265,200	-533,000	-87,200	-839,600	395,000	516,800	0

第3号議案 2022年度理事・監事選任(案)

役員立候補者名(あいうえお順)

理事	1	柏尾 珠紀	6	眞田 善之	11	寺田 守
	2	金崎 いよ子	7	沢井 進一	12	中 明子
	3	加村 賀勇	8	鹿田 良男	13	中島 正一
	4	河野 芳明	9	鈴木 嘉恵	14	古川 道夫
	5	笹江 晃弘	10	田中 仁一郎	15	八尋 由佳

監事	佐藤 育子	芝本 伊三男
----	-------	--------

資料 1

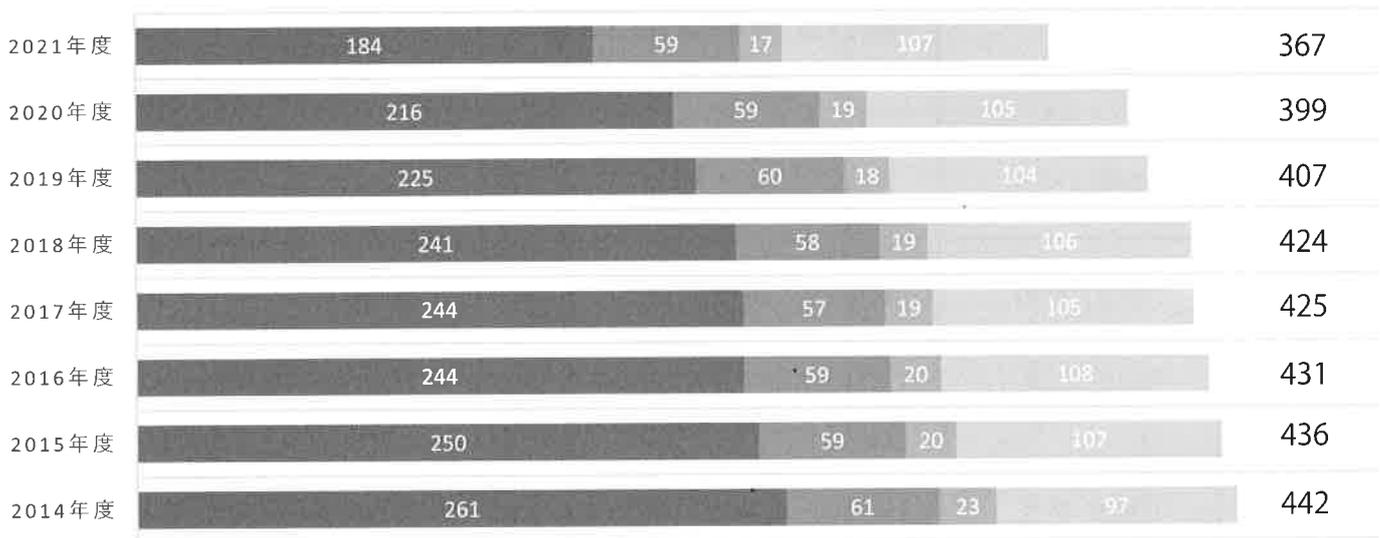
運営委員紹介

守山青年会議所	酒井 洋輔
守山学区	竹村 祐輔
吉身学区	下田 義春
小津学区	三品 一博
河西学区	大西 徹
速野学区	村山 勇人

顧問	北田 俊夫
----	-------

会員の推移

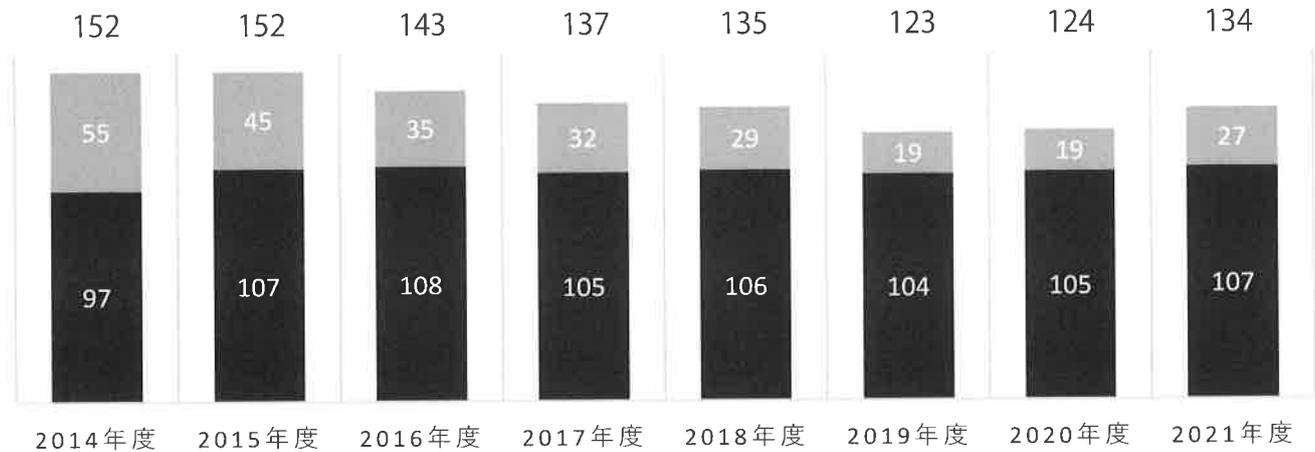
■個人 ■自治会 ■団体・企業 ■賛助会員



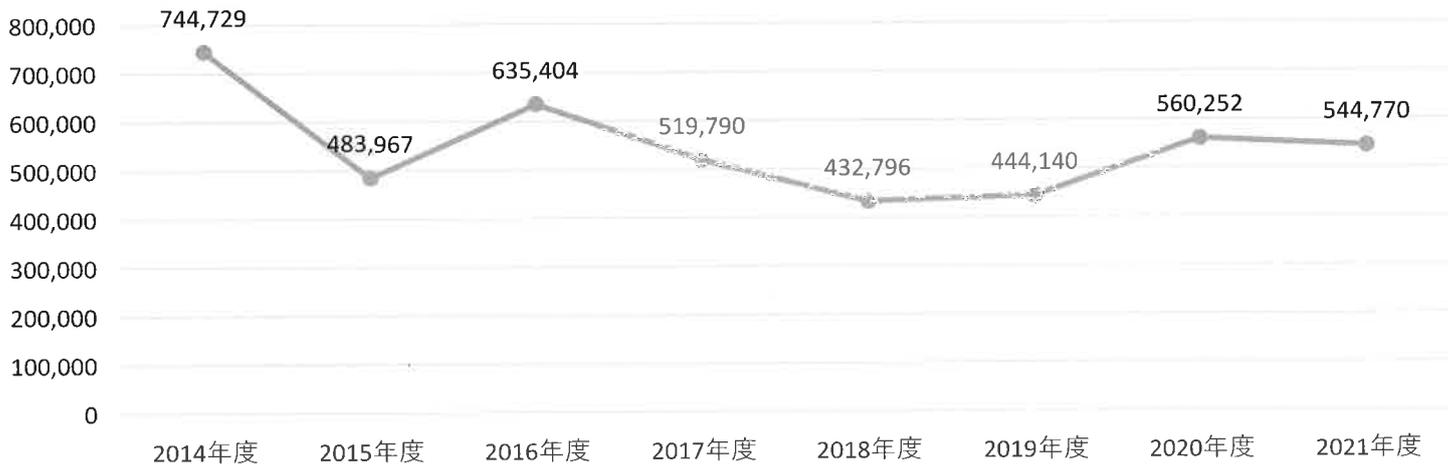
ほたるサポーターは寄付者と賛助会員で構成され、資金面からびわこ豊穡の郷を支えていただいています。

ほたるサポーターの推移 (単位：人)

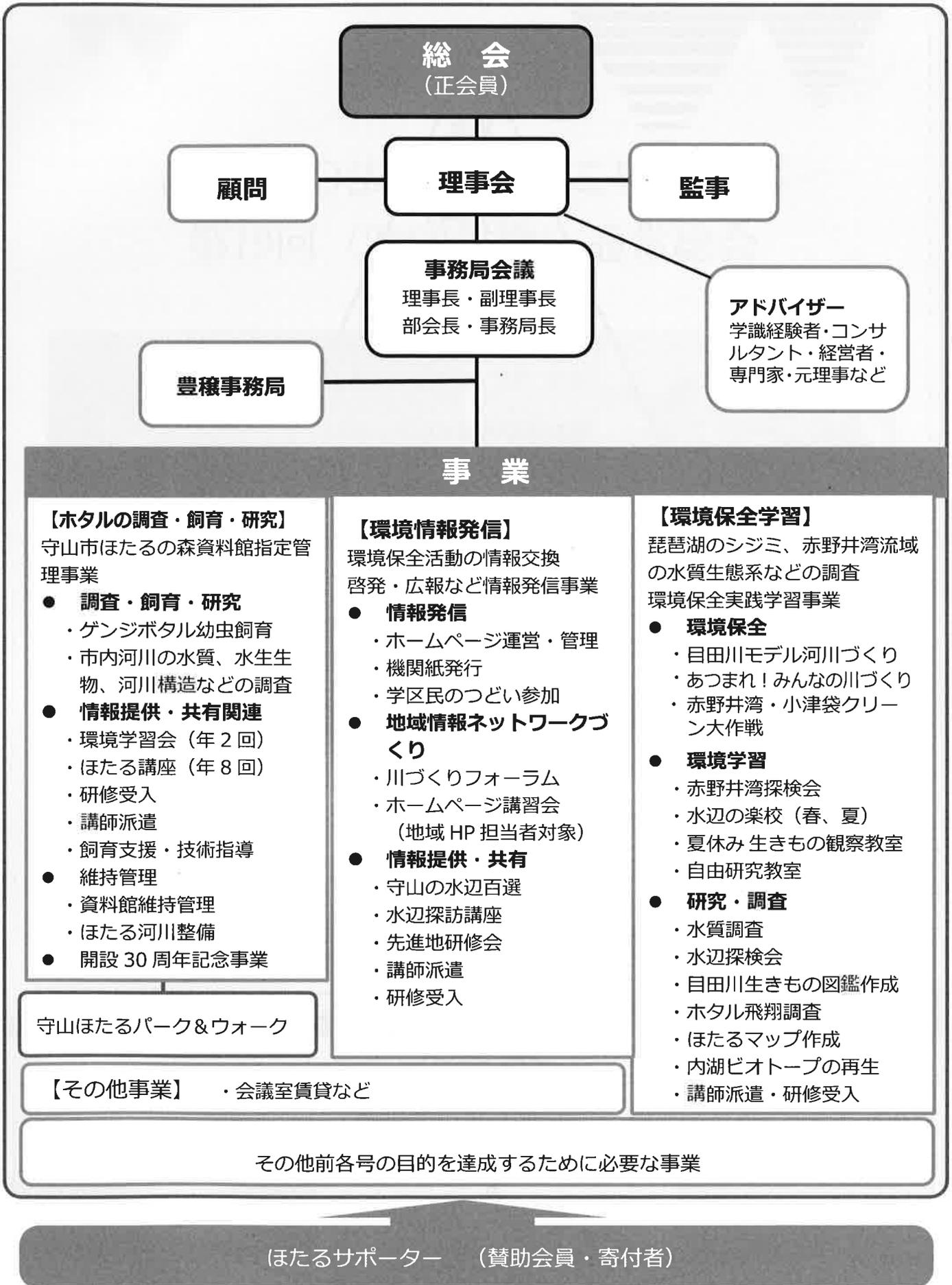
■賛助会員 ■寄付者



寄付金額の推移(単位：円)



びわこ豊穡の郷組織図



びわこ豊穰の郷

